

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
中心市街地活性化のための顔づくり地区

平成25年6月

和歌山県有田市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

| 指標 | 単位 | 従前値 | 目標値 | 事後評価 | | | | フォローアップによる確定値 | 計測時期 | フォローアップ時点での達成度 | 確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等 | | 総合所見 |
|-----|--------------|-----|---------|---------|----------|-------------|------------|---------------|---------|----------------|------------------------------------|---|--|
| | | | | 評価値 | 見込み・確定の別 | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | | | | 理由 | 改善策の方向性 | |
| 指標1 | 駅乗降客数 | 人/日 | 3,994 | 4,200 | 3,521 | 確定 見込み ● | △ | あり なし ● | 3,467 | H25年6月 | × | 人口減少が続くなかで目標値の見込み推計が甘かった。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 駅前広場等整備により駅利用者の利便性が高まったが、駅乗降客数を直接増加させる効果としては薄かった。 |
| 指標2 | 観光入込客数 | 人/年 | 330,043 | 345,000 | 274,776 | 確定 見込み ● | × | あり なし ● | 271,914 | H25年6月 | △ | 観光入込客数が減少傾向にあるなかで目標値の見込み推計が甘かった。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 数値目標にははるかに及ばないが、減少傾向のなかで前年度の数値を上回ったことは評価できる。 |
| 指標3 | バス利用客数 | 件/年 | 29,969 | 36,000 | 22,468 | 確定 見込み ● | △ | あり なし ● | 19,753 | H25年6月 | × | 人口減少が続くなかで利用客数は予想以上に減少した。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | デマンドバスは市民、観光客の移動手段として定着できていない。 |
| 指標4 | 市民のまちづくり会合回数 | 回/年 | 0 | 6 | 6 | 確定 見込み ● | ○ | あり なし | 10 | H25年3月 | ○ | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 駅前に駐輪場・駐車場が整備されたことにより、イベント時の駐車場等が確保され、会合での企画提案が容易になった。 |

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

| 指標 | 単位 | 従前値 | 目標値 | 事後評価 | | | | フォローアップによる確定値 | 計測時期 | フォローアップ時点での達成度 | 確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等 | | 総合所見 |
|-----------|---------------|-----|-----|------|----------|-------------|------------|---------------|------|----------------|------------------------------------|--|---|
| | | | | 評価値 | 見込み・確定の別 | 達成度 | 1年以内の達成見込み | | | | 理由 | 改善策の方向性 | |
| その他の数値指標1 | 駅トイレのバリアフリー化率 | % | 0 | / | 100 | 確定 ● 見込み | / | / | / | H 年 月 | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 駅トイレの整備により、駅の利便性や市の玄関口のイメージが向上した。 |
| その他の数値指標2 | 駅前違法駐車・駐輪台数 | 台/日 | 40 | / | 20 | 確定 ● 見込み | / | / | 18 | H25年3月 | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 箕島駅前に駐車場・駐輪場を整備したことにより、駅前違法駐車・駐輪台数が減少した。 |
| その他の数値指標3 | バスエリアカバー率 | % | 50 | / | 100 | 確定 ● 見込み | / | / | / | H 年 月 | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 地域公共交通確保維持改善事業等によるデマンドバスの運行で、市内のバスエリアカバー率が増加した。 |

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

| 事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項) | | 実施した具体的な内容 | 実施した結果 | 今後の課題 その他特記事項 |
|--|--------------------|--|---|---|
| ・成果を持続させるために行う方策 | 駅前広場、駅公衆トイレの美化 | 協働推進事業(まちづくりサポーター)によるトイレの清掃 | 市民と行政の協働によるまちづくりの意識が高まった。 | 今後も市民との協働のまちづくりを進めていく。 |
| | 駅への公共交通アクセスの利便性向上 | 都市計画道路望月港線整備事業による駅前地区へのアクセス道路の整備 | 東西に通るアクセス道路の整備ができた。 | 都市計画道路箕島停車場線整備事業による南北に通るアクセス道路の整備が必要。 |
| | | | | |
| 改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策 | 玄関口のイメージの向上 | 有田ロータリークラブによるモニュメント設置 | 市民が参加し、有田市を訪れる人や旅立つ人を、優しく迎え送り出す等ふるさとのあたたかさを創出する意識が高まった。 | 今後も市民参加型のまちづくりを進めていく。 |
| | 観光客誘致 | 紀文まつり、みかんの花街道ウォーク、ウォーキングマップ完成記念ウォーク等駅周辺でのイベントの実施 | イベント来場者の駅利用が増加した。 | 既存イベントの充実や、更なる誘客につながる新規事業の計画・実施が必要。 |
| | バス利用者のニーズにあわせたバス運行 | バスルートの拡大による交通空白地域の解消 | 市内のバスエリアカバー率が100%になった。 | バスのルートは拡大したが、利用者が減少しているなかで、より利便性の高い路線や時刻表になるよう努める必要がある。 |

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

| 追加が考えられる今後のまちづくり方策 | 具体的内容 | 実施時期 | 実施にあたっての課題 その他特記事項 |
|--------------------|--|------|----------------------------|
| 駅構内のバリアフリー化対策 | 駅利用者の利便性向上のため、エレベーター設置、ホームこう上等駅舎のバリアフリー整備を推進する。 | 25年度 | 県、JR西日本との連携強化 |
| 駅構内を利用した特産品等購買動向調査 | 箕島駅構内の売店において、地域住民や観光客の特産品等購買動向及び需要、観光への関心などを調査する。併せて、観光案内や特産品PRのためのフェアも実施する。 | 25年度 | 観光振興の基礎資料として調査結果の分析・活用が必要。 |
| バス利用者の維持、増加のための取組 | 電車との乗り継ぎ連携を強化した時刻表の改正やバスルートの変更 | 25年度 | バス利用者のニーズの把握、バス事業者との連携強化 |
| | | | |